

文化交流を通じて

私が夏休みにお世話になったフェアイルドの中学生が10月に黒潮町へ来ました。私の家は、ホームステイの受け入れをしていて、私がニュージーランドでお世話になったジョージが私の家へ来ました。

会うまでは上手く話せるか心配でしたが、再会すると嬉しくて心配や緊張はすぐに無くなりました。移動している車の中では、ニュージーランドのことを聞いたり、家に着いてからは、お土産の交換や写真を撮ったりしてジョージも家族と打ち解けてくれた様子でした。

一緒に学校で過ごしたのは一日だけでしたが、ニュージーランド伝統のダンス「ハカ」やよさこいを一緒に踊ったり、剣道や昔遊び、調理実習をしてお互いの国の文化を学び合いました。ニュージーランドの人たちは、自分たちの文化や伝統に誇りを持ち、それをしっかりと受け継いで大切にしています。私は、黒潮町中学生海外派遣事業での体験を通じて、今まで以上に英語を勉強することはもちろん、ニュージーランドの人たちのように高知県や黒潮町の伝統や良さを守り続け、全国や世界に発信していきたいと強く思いました。



(大方中学校 3年 松本 もも)

特別支援学校との交流学習

5・6年生が、今年も中村特別支援学校に交流学習に行きました。たくさんの人たちが待っていてくれました。

まず支援学校の人たちと班になり、学校めぐりを行いました。私たちの学校とは違って、施設にエレベーターやスロープがありました。それは、車いすを使っている人たちのためだなど思いました。スロープの避難道もあつてもし地震などが来ても車いすでも避難できるようになっていました。

私は、車いすを使っている人とペアになったので、車いすを押しながら学校を回りました。車いすを押すのは少し大変でした。担当の先生が「Aちゃんもうれしいと思うよ。ありがとう」と言ってくれてうれしかったです。

支援学校の人たちとダンスも踊りました。支援学校の人たちが「エビカニクス」で、私たちは「USA」でした。最後にはみんなで一緒に「USA」を踊つとても楽しかったです。

お別れ式の時には、私たちが作ったプレゼントを渡しました。すごく喜んでくれました。休み時間もがんばつて作つてよかったと思いました。大切なことが学べた交流学習でした。



(田ノ口小学校 6年 藤原 千夏)

読み聞かせ朝会

南郷小学校では、毎週金曜日の朝、読み聞かせ朝会があります。毎月地域の方など色々な方がきてくれて読み聞かせをしてくれます。5年生だけの時もあれば、6年生や4年生と一緒に読み聞かせを楽しむ時もあります。

10月の本は、5年生の教科書にのっている「注文の多い料理店」でした。この物語は、2人の若い紳士がイギリスの兵隊のかっこうをして、西洋料理店「山猫軒」というお店に入る所から始まります。

教科書と内容が同じだったけど、絵は本の方が複雑でした。面白くて、その場の雰囲気が伝わってきた感じがしました。読み聞かせをしてくれる人は、文章の表現工夫して読んでくれていたので、その場にいるようでした。毎週色々な本を読み聞かせをしてくれるので、楽しみにしています。



(南郷小学校 5年 別府 穂乃香)